

2015年10月5日

## -阪神・淡路大震災から20年-

### 心理的影響と支援に関する講演会のご案内

徳島県臨床心理士会  
災害対策チーム  
代表 小倉正義

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この度、徳島県災害対策研究会では、兵庫県こころのケアセンター センター長の加藤 寛先生をお迎えして、災害後の長期的な心理的影響や支援活動についての講演会を、下記の通り開催することにいたしました。阪神・淡路大震災から20年目の節目を迎えたことをうけ、これまでの支援活動等から得られた知見をお話いただく予定にしております。

災害直後だけでなく、長期的な心理的影響についても学ぶ事のできる貴重な機会ですので、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

- 【日時】2015年11月22日(日) 午後2時—午後4時  
【場所】徳島大学 常三島キャンパス 地域連携大ホール  
【講師】加藤 寛 先生(兵庫県こころのケアセンター センター長)  
【演題】災害後の心理的影響とその支援  
— 阪神・淡路大震災からの20年をふりかえって  
【参加費】学生500円  
一般1,000円 ※当日受付にてお支払いください。

#### ※事前申し込み方法

お名前、ご所属、区分(学生もしくは一般)を明記の上、下記の申し込み先へご連絡ください。  
なお、準備の関係上、11月8日・日曜日までにお申込みください。

#### 《講師プロフィール》

##### 加藤 寛 先生(かとうひろし) 兵庫県こころのケアセンター センター長

神戸大学医学部卒。精神科医。医学博士。1995年まで東京の公立病院で精神科救急の実践を行う。阪神・淡路大震災後、神戸に戻り被災地におけるメンタルヘルスを担う新しい公的機関「こころのケアセンター」に、2000年3月まで勤務。その後、兵庫県のシンクタンク「こころのケア研究所」に2000年4月から所属し、メンタルヘルスに関する研究と施策提言を行う。2004年4月からは「兵庫県こころのケアセンター」として活動を拡大し、トラウマやPTSDに関する臨床と研究に携わっている。第4代日本トラウマティック・ストレス学会会長。

#### 《主な著書》

加藤 寛 『消防士を救え～災害救援者のための惨事ストレス対策講座～』 東京法令出版、2009  
加藤 寛・最相葉月 『心のケア—阪神・淡路大震災から東北へ』 講談社現代新書、2011 など

お問い合わせ・申し込み先:

E-mail: [moushikomi1122@yahoo.co.jp](mailto:moushikomi1122@yahoo.co.jp) (担当: 森)

FAX: 088-687-6325 (担当: 小倉)